

Tecamin Max

高濃度遊離アミノ酸配合！
アミノ酸の補給で
植物のストレス軽減に！



保証成分 窒素全量 6.0%
(カッポ内は 内 アンモニウム性窒素 3.0%
その他成分) (遊離アミノ酸類 約12%)



※顔色はイメージです。

「アジパンダ」は味の素 株のキャラクターです。

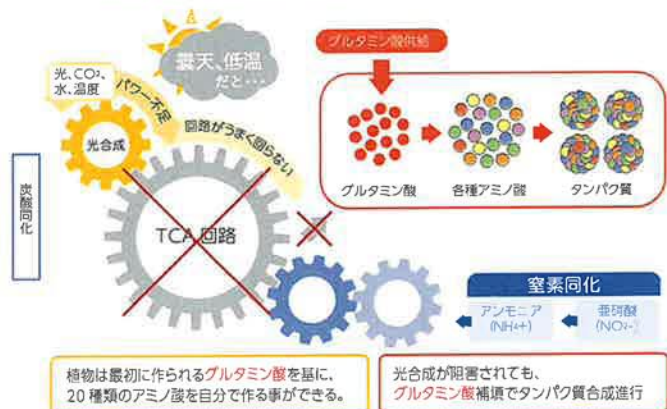
製品特長

各種アミノ酸、特に植物の生育に必要なたんぱく質を作るグルタミン酸を豊富に含む葉面散布材です。植物の生育促進、曇天・低温など光合成能力が低下したとき、ストレス状況下で生育をサポートします。含まれているアミノ酸は植物の細胞壁より速やかに吸収されます。

こんな時にお使いください

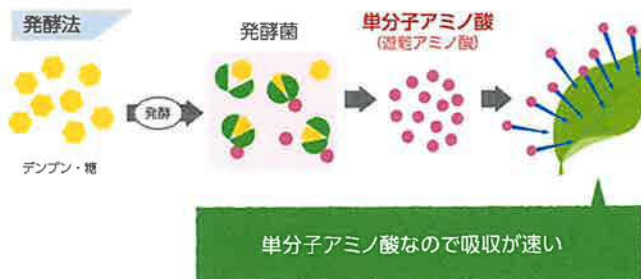
- 根からの養分吸収が弱いと感じた
- 曇りの日が続く作物の生育が悪い
- 農薬と混用で効率的な
- 生育を早めたい
- 葉面散布をしたい*
- 低温で作物の生育が悪い
- 暑熱期に苗質を維持したい
- 収穫物の実入りを良くしたい

グルタミン酸が曇天、低温時の生育不良を改善。好天時には収量UP



アミノ酸は単分子だと葉から吸収できる。

味の素(株)は発酵法により、単分子の遊離アミノ酸を含む肥料を製造しています。植物の細胞壁より吸収されやすい形になっているので、効果の速さが違います。



味の素葉面散布材の特徴比較



	遊離アミノ酸含量	その他の特徴
TecaminMax	12%	
アジフォル、アミノガード	14~15%	ミネラル含有

TecaminMaxはアジフォル、アミノガードと同じ、フランス産のグルタミン酸発酵液をベースにしたバイオスティミュラントです。

■ 施用方法

葉面散布	施用量	10a当たり150～300mℓ
	希釈倍率	500～1000倍程度
灌水散布	10a当たり3～5ℓを希釈して株元に届くように施用	

※農薬を含むほか資材と混用可能
ミネラルの多い資材や農薬と併用する場合は、沈殿等生じないが、事前に少量でご確認ください。石灰硫黄合剤などアルカリ性資材との混用は避けてください。

施用回数
月に2～4回

■ 様々な作物で幅広くご使用いただけます

馬鈴薯、玉ねぎ、ピート、小麦など



トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、イチゴなど



アスパラガス、ホウレンソウ、レタスなど



果樹



■ 施用例

豆類、麦類、水稻	4葉期前後～子実肥大期	10a当たり150～200mℓを希釈して葉面散布
葉物類、根菜類	4葉期前後～肥大期	10a当たり150～300mℓを希釈して葉面散布
果菜類	定植～収穫前に施肥	10a当たり200～300mℓを希釈して葉面散布
果樹類	葉生育期～果実肥大期	10a当たり300mℓを希釈して葉面散布
花卉類	定植～収穫前	10a当たり150～300mℓを希釈して葉面散布

■ 施用事例

タマネギ

Tecamin Maxを2回
葉面散布 (200mℓ/10a)



玉ねぎ	無処理区	処理区	無処理区比
	重量(g)	重量(g)	重量(%)
総重量	12,590	14,091	112
一個量	221	247	112

(北海道 当社調べ)

トマト

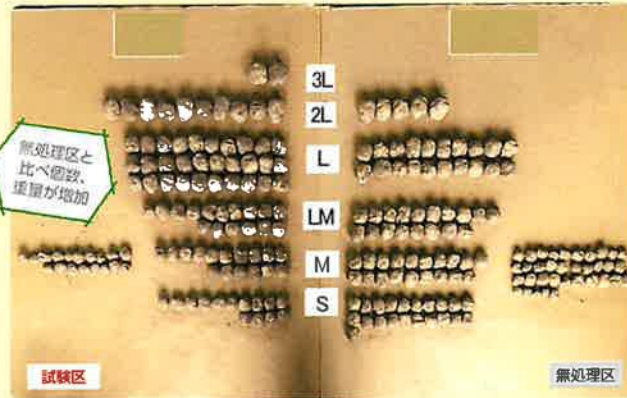
Tecamin Maxを10日おきに
葉面散布 (200mℓ/10a)



(愛知県 当社調べ)

馬鈴薯

Tecamin Maxを葉面散布
(200mℓ/10a)



馬鈴薯	処理区		無処理区		無処理区比(%)	
	個数	重量(g)	個数	重量(g)	個数	重量(g)
規格内	84	10,381	80	8,549	105	121
合計	127	11,948	111	9,811	114	122

(北海道 当社調べ)

使用上の注意

●希釈した液は保存出来ません。その日のうちに使い切ってください。●「石灰硫黄合剤」などアルカリ性の資材や殺菌剤との混用は避けてください。●ミネラルの多い資材と併用する場合は、沈殿など生じないか事前に少量で試し、問題ないことをご確認ください。●長時間放置すると分層します。使用前は必ずよく振る / 攪拌して均一になったことを確認の上ご使用ください。●成分の結晶が発生することがあります。使用前はよく溶解してからお使いください。